

## 新型コロナの感染状況について

世界的な感染拡大が続く「新型コロナウイルスによる感染症」ですが、引き続き CBCA NEWS でも取り上げます。今回は、世界および日本(特に東京)の感染状況などについてお伝えします。

### 🌐 世界と日本の新規感染者数の推移 (4/2 現在)

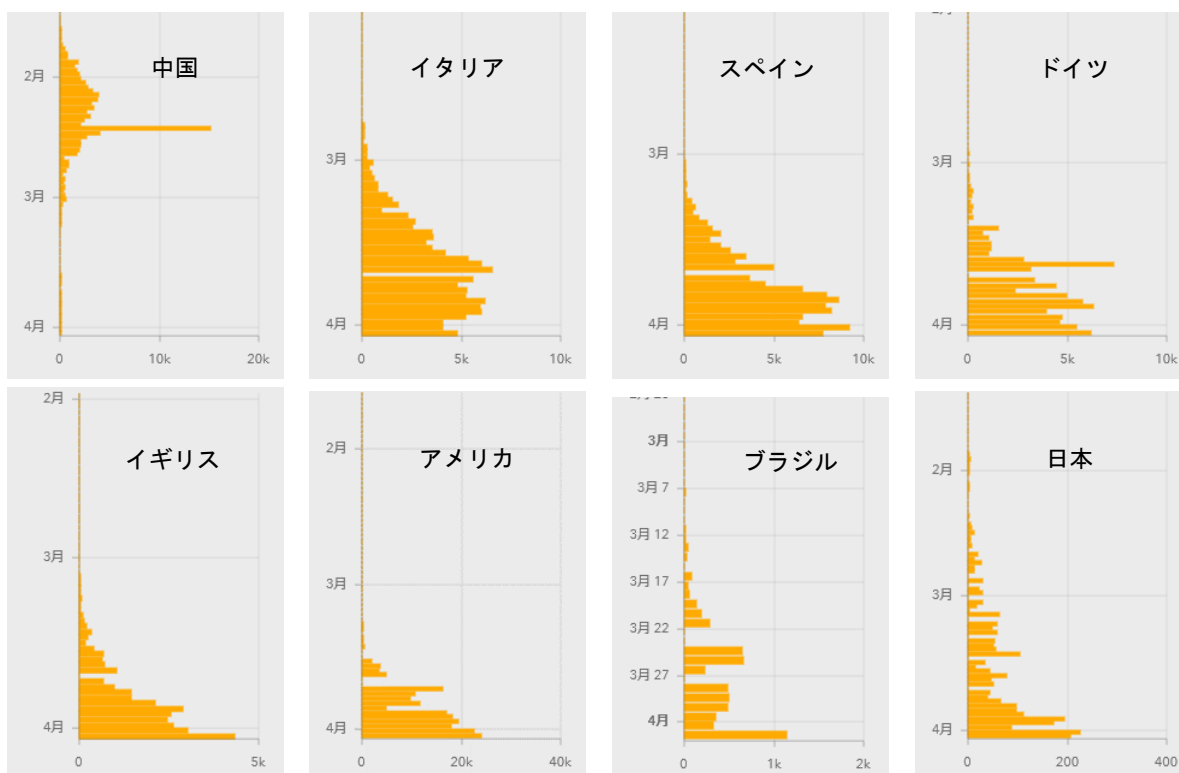
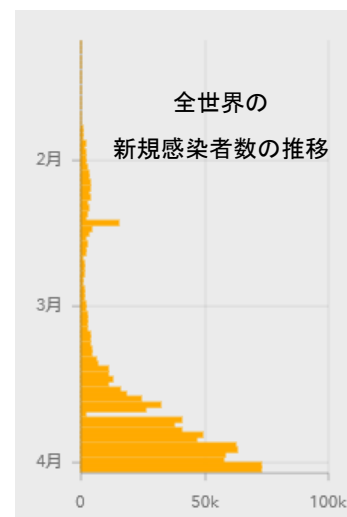
右のグラフ「全世界の新規感染者数の推移」を見てみましょう。

(WHO 集計、4/2 現在、単位：人 (kは千人))

まず、1月下旬から2月中旬に掛けて、新規感染者が増加していますが、この殆どは中国国内の感染者です。2月中旬頃から日本や韓国での感染も報道され始めましたが、データ上は微々たるものです。

次に、2月下旬以降、新規感染者数が再び増加していますが、こちらはイタリアや韓国、イランなどの感染拡大が主なものです。そして3月中旬になると、感染が欧州全土に拡がり、新規感染者数は爆発的に増加します。3月下旬からは米国での感染が急拡大し、4月に入っても感染の鎮静化は図られていません。今となっては中国での感染が小規模に見えてしまっていますが、中国の公表感染者データの信憑性を疑う指摘も見受けられます。

今度は「各国の新規感染者数の推移」を見てみましょう。



感染拡大の中心が、中国から欧州そして米国へと移っていることがグラフから読み取れます。欧州で先行したイタリアは感染拡大のピークを越えたようにみられますが、米国はまだ感染拡大の初期のようにもみえます。今後は、ブラジルなど新興国での感染拡大が懸念されています。

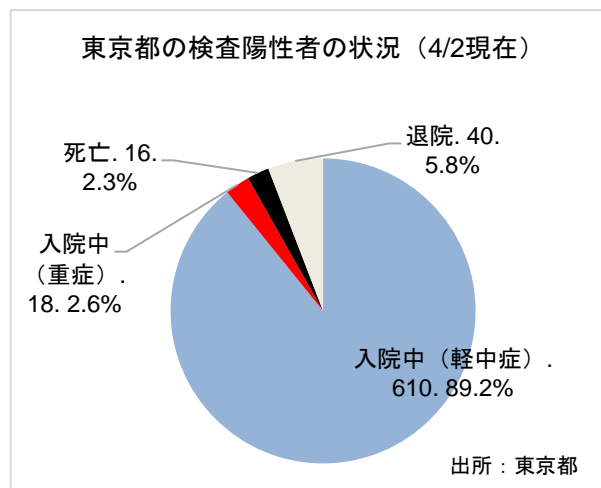
また、殆どの国で、感染がある程度進むとその後急拡大していることが見て取れます。唯一まだそうっていないのが日本ですが、ここ1週間の感染者数の増加をみると、今後は懸念される状態にあると思われます。

#### ✚ 東京都の感染者の状況（4/2 現在）

日本での感染拡大の鍵を握るとみられる東京都の感染者の状況をみてみましょう。

感染者（検査陽性者）累計 684 人（4/2 現在）のうち、入院中で症状の重くない方（軽中症）は 610 人と全体の 89.2% を占めます。感染しても 8 割の方は無症状もしくは軽傷で済むと言われているとおりの結果を示しています。

一方、重症の方は 18 人で 2.6% にすぎませんが、亡くなられた方は 16 人で 2.3% を占めていることから、いったん重症になると命に係わる危険がかなり高いことが伺えます。



また、既に退院された方は 40 人で 5.8% にしかすぎません。感染すると、完治し社会復帰するまでかなりの日数を要することが分かります。現行、検査陽性者は、症状の有無にかかわらず原則入院しなければいけません。しかし東京都は、感染者の増加に伴う病床不足を回避するため、無症状や軽症者を病院外の宿泊施設に移動させる方針を固め、厚労省と調整中とのこと。ベッドの確保と同時に、軽症者への看護負担を軽減し、重症者の命を救う体制を確保することで、なんとか医療崩壊は回避したいとの意図があります。

指摘される主な感染クラスターの一つに、院内感染があります。院内感染には、感染者病棟からのものと、一般病棟や外来に感染者が混じりこんでいたために起こるものがあります。いずれにせよ、院内感染は病院機能を著しく損ねるため、対応には面倒なことが多いと思われますが、是が非でも回避しなければなりません。

また、指摘される主な感染クラスターとして、「夜の街クラスター」が強く指摘されています。これらの場所の多くは、感染リスクが高いとされる「三密」に該当します。自粛の効果をも高めるためにも、一層の注意喚起を願うばかりです。

なお、今のような状況においても、海外渡航者からの感染がいっこうに無くなりません。海外の感染急拡大に水際対策が追い付いていない現状が浮き彫りになっています。政府は 4/3 から水際対策の強化を図りましたが、漏れのないような対策実行を是非ともお願いしたいところです。

一般社団法人全国経営診断士協会

〒112-0004

東京都文京区後楽 2-2-17 NBD 三義ビル

TEL : 03-3812-8211 FAX : 03-3812-8213

mail@cbca.jp

http://www.cbca.jp

お問い合わせ先